

セキュアなKUBERNETES 間接続

エッジからクラウドにいたる Kubernetesアプリケーションの 配信と保護

KUBERNETES CONNECTIVITY を使用する理由



運用の簡素化

複雑さを軽減し、ツールの無秩序な増加を減らします。コンテナ化されたワークロードのアプリの健全性に対するよりよいインサイトとパフォーマンス向上を実現します。



アップタイムの向上

動的な環境でアプリの接続性を維持し、顧客に影響が及ぶ前に問題を解決します。



アプリのリリースの高速化

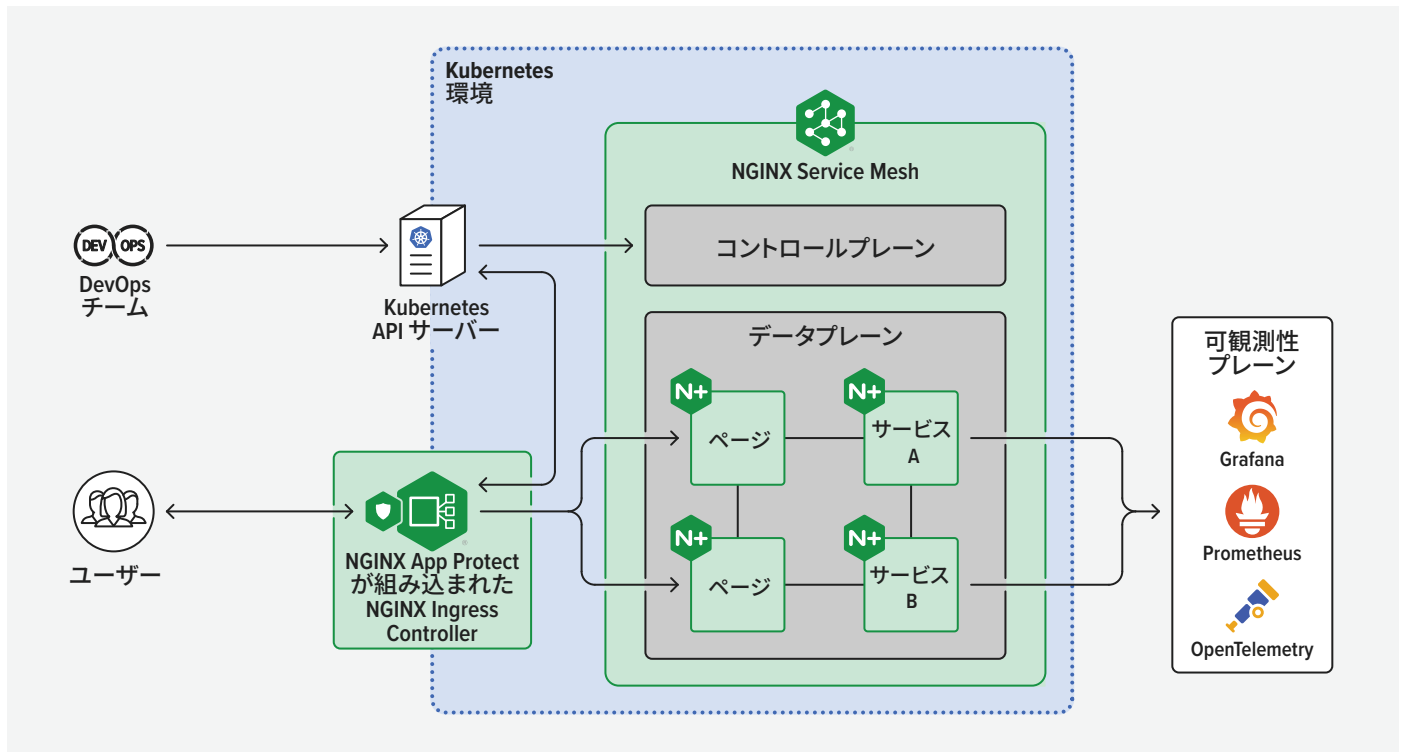
セキュリティを犠牲にすることなく、マルチテナント開発チーム全体でセルフサービス機能を合理化できます。

F5 NGINXにより複雑さを軽減、アップタイムを向上、 アプリのリリースを大規模に高速化

Kubernetesは、モダンアプリケーションを効率的に配信するためのコンテナ管理とオーケストレーションにおける標準です。多くの組織がKubernetesを実稼働のための本番環境に採用するときに、以下のような課題に直面しています。

- スケーラブルで動的な環境なゆえに、接続のタイムアウトやエラーにより、ユーザーエクスペリエンスの低下が起こりやすい
- アプリの健全性やパフォーマンスの可視化が不十分なため、ダウンタイムやトラブルシューティングに時間がかかる
- アプリの分散により、環境全体でサイバー脅威にさらされるリスクが増える
- ガバナンスとセルフサービス機能がない、または不十分なため、リリースサイクルが遅くなる
- 複雑化とツールの無秩序な増加により、ハイブリッドのマルチクラウド環境の運用や管理が難しくなる

セキュアなKubernetes間接続を実現するため、NGINX Ingress Controller、NGINX Service Mesh およびNGINX App Protectを統合ツールキットにまとめることで、オンプレミス、クラウドまたはエッジでのKubernetesアプリの拡張、監視、管理および保護を可能にします。



Secure Kubernetes Connectivityのメリット

あらゆるKubernetes環境で、Kubernetesを実行する場所を問わず、アプリとサービスの接続性を簡素化および合理化します。より高度な拡張性、可観測性、セキュリティおよびガバナンスを必要とするビジネスクリティカルなアプリのために、クラウドプロバイダの機能やプリパッケージのKubernetes提供の機能を強化し、完全なサポートを提供します。

拡張

ピーク時ワークロード下のエクスペリエンスを向上させます。

- **パフォーマンスとレジリエンスの最適化**: 無停止の再構成、適応性に優れたロードバランシング、およびきめ細かいトラフィック管理により、適応を高速化します。
- **技術の統合**: エンタープライズグレードの統一された統合ツールキットにより、APIゲートウェイからロードバランサーまでのユースケースを強化します。

観測

アプリの健全性とパフォーマンスを可視化し、インサイトを提供します。

- **トラブルシューティングの簡素化**: 広範囲のメトリクスとダッシュボードにより、アプリの問題の根本原因を迅速に特定します。
- **確実性の高い計画**: 意思決定を改善するために、詳細な履歴データでワークロードのトレンドとサイクルを特定します。

詳しくは、nginx.co.jp/をご覧ください。

保護

アプリとの保護を合理化および統一します。

- **セキュリティ体制の改善**: 認証、認可、アクセス制御、暗号化、動的ポリシーおよび監査の一元化により、ゼロトラストを強化します。
- **全体的なアプリの保護**: リリース速度もパフォーマンスも低下させることなく、分散環境全体でWAFとDoSの保護を統合します。

ガバナンス

ガバナンスマルチテナントチームのアジリティと効率性を向上させます。

- **セルフサービスの実現**: 開発チームは、プラットフォーム運用チームにチケットを送信することなく、アプリへの接続性を制御できます。
- **リソースの共有**: ロールベースのアクセス制御 (RBAC) で権限を管理することで、コストと複雑さを軽減できます。